



2021年6月9日
東日本旅客鉄道株式会社

「DX 銘柄 2021」に選定されました

このたび、JR 東日本は「DX 銘柄 2021」に選定されました。DX 銘柄は、積極的にデジタルトランスフォーメーション（以下、「DX」）に取り組む企業を経済産業省および東京証券取引所が選定するものです。一昨年まで過去 5 回にわたり実施されてきた前身の「攻めの IT 経営銘柄」を含めると、当社は同銘柄が創設された 2015 年から 7 年連続の選定となります。

■ 選定に至った JR 東日本の主な取組み

[JR 東日本グループ経営ビジョン「変革 2027」]

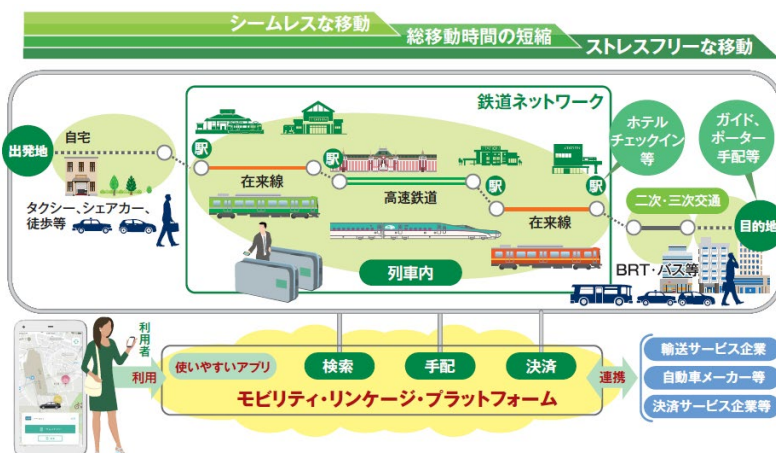
2018 年 7 月に公表した JR 東日本グループ経営ビジョン「変革 2027」では、「鉄道のインフラ等を起点としたサービス提供」から「ヒト（すべての人）の生活における「豊かさ」を起点とした新たな価値創造」へと転換していくことを目指しています。

新型コロナウイルス感染症は、社会に不可逆的な構造変化をもたらしています。お客さまとのリアルな接点を大切にしながら、今後も MaaS の推進やデジタルマーケティングの拡大などをはじめとする DX の取り組みを進め、お客さまや地域社会の多様なニーズにこたえる施策をスピード感を持って進めていきます。

[MaaS の取組み]

お客さまが移動のための検索・手配・決済をオールインワンで行うことができる「モビリティ・リンケージ・プラットフォーム」を構築し、「シームレスな移動」「総移動時間の短縮」「ストレスフリーな移動」の実現を目指しています。

取り組みの一つとして、運行情報や振替輸送情報などを提供している「JR 東日本アプリ」で列車の遅れを加味した「リアルタイム経路検索」や「リアルタイム列車混雑状況」の提供を行っています。今後もデジタル技術を活用して、お客さまの移動・旅のスタイルを提案していきます。



モビリティ・リンケージ・プラットフォーム



「JR 東日本アプリ」

リアルタイム経路検索の実証実験

※検索結果の画面について、当社が意匠権を取得しています。

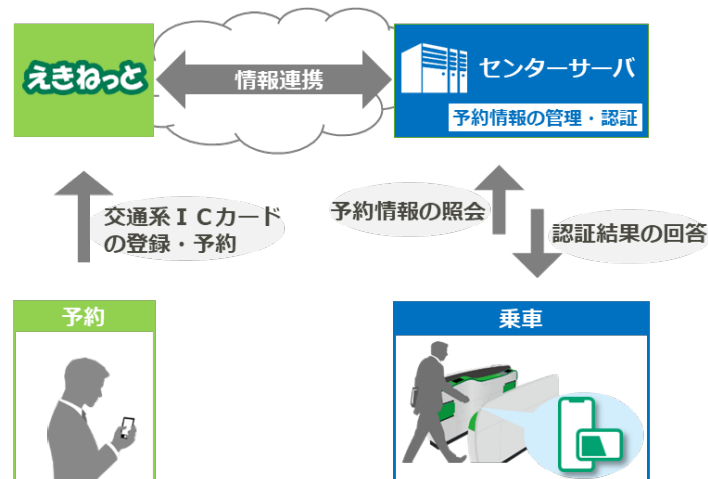
[自社新幹線のチケットレス化推進]

2020年3月よりJR北海道やJR西日本とともに、東北・北海道、上越、北陸、山形、秋田の各新幹線で「新幹線eチケットサービス」の提供を開始しました。

新幹線 e チケット

本サービスでは、オンライン予約サイト「えきねっと」などでご予約いただいた情報の管理・認証を行うセンターサーバを新規に構築しました。お客さまが新幹線自動改札機に交通系ICカードをタッチした際に、通信ネットワークを介してセンターサーバに予約情報を照会することで新幹線自動改札機の開閉を行うクラウド技術を活用したセンターサーバ照会方式を採用し、きっぷを受け取ることなく、新幹線をチケットレスでご利用いただくことを実現しています。

今後も「ストレスフリーな移動」の実現に向け、引き続き取り組んでまいります。



システムのイメージ

■ 「DX 銘柄 2021」について

経済産業省および東京証券取引所が共同で、東京証券取引所に上場している企業の中から、企業価値の向上につながるDXを推進するための仕組みを社内に構築し、優れたデジタル活用の実績が表れている企業を、業種区分ごとに選定して紹介するものです。前身の「攻めのIT経営銘柄」を含めると、当社は7年連続の選定となります。

DX銘柄2021
Digital Transformation